

コア会議で改訂の方向性を決定したのち、ワーキングに移行

コア会議

役割:改訂の方向性について議論



ワーキンググループ

役割:具体的な内容について議論

- | | | |
|-----|------------|----------------|
| 第1回 | 令和6年12月16日 | 改訂の方向性について |
| 第2回 | 令和7年2月28日 | 今後の進め方について(大枠) |
| 第3回 | 令和7年4月11日 | 今後の進め方について(具体) |

柏モデルガイドブック改訂の検討状況について

改訂の方向性(第1回)

方向性

- 大幅な改訂
(全て作り直す可能性も有)
- 2040年を見据えた内容
- 使ってもらえるガイドブック

今後の進め方(第2回)

ワーキングを4回実施

1. 病院・施設
2. かかりつけ医・地域包括
3. 多職種
4. 全ての職種(まとめ)

※1～3全てに在宅医・訪問看護
ケアマネジャー参加

各ワーキングで 議論する内容を 決定予定(次回コア会議)

ワーキングでの論点

- Web会議システムを活用した退院時共同指導
- 在宅医のいない高齢者への対応
- 通院できなくなった際の対応
- 検死を減らすには
- 高齢者の救急搬送
- かかりつけ医と在宅医が連携する際のルール